



電子機械設計・製作II

week 1

MVP構想

電子機械設計・製作Ⅱ（3単位：週2回6コマ）

Week1	10/3	MVP構想
	10/6	
Week2	10/10	
	10/15	
Week3	10/17	MVP設計・製作
	10/20	
Week4	10/24	
	10/27	
Week5	10/31	
	11/6	
Week6	11/14	
	11/17	
Week7	11/21	MVP評価
	12/1	

11/8 - 9
高専祭

11/26 - 11/28
後期中間試験

Week8	12/5	MVP評価
	12/8	
Week9	12/12	社会実装
	12/15	
Week10	12/19	改良評価
	12/22	
Week11	1/5	発表会準備
	1/9	
Week12	1/16	開発完了報告書 3月の発表会に向けて調整
	1/19	
Week13	1/23	
	1/26	
Week14	1/30	
	2/2	
Week15	2/13	
	2/16	まとめ

1/10
MIRS発表会

2/4 - 2/10
学年末試験

■ チーム評価：65 %

ドキュメント：40 %

プレゼン資料、社会実装報告書等

システム構想、システム提案書 DR 議事録、その他議事録

発表会：20 %

MIRS発表会

作業環境の維持：5 %

■ 個人評価：35 %

作業報告書：10 %

レビュー評価：15 %

チーム貢献度：10 %



MVP（Minimum Viable Product）

「最小限の実現可能な製品」をリリースする

ユーザーのニーズを満たす必要最小限の機能を備えたミニマムな製品を開発し、
ユーザーのフィードバックをもとに製品を改善していく手法



MVPの特徴

最小限の機能

製品開発に必要な最小限の機能だけを備える

製品の核となる機能や基本的な機能のみを選択し、無駄な機能を排除する

早期リリース

製品の早期リリースを重視する

完璧な製品を作り上げるのではなく、最初の段階からリリースしてユーザーの反応を確認する

フィードバックと学習

リリース後は、実際のユーザーや顧客からのフィードバックを収集し、製品を改善する

フィードバックをもとに学びながら製品を進化させることが重要

マイルストーン

**MVP
構想**

11 / 17

MVP仕様書

ユーザーストーリー
シナリオイメージ
KPI評価基準を設定

**MVP
設計**

12 / 08

MVP設計書

設計書（回路、機構）
部品リスト
材料、購入品、リンク

**MVP
評価**

12 / 22

評価レポート

定量評価
MVP現品会議

**社会実装
評価**

01 / 10

開発完了報告書

評価シート
アンケート
観察記録

電子機械設計・製作Ⅱ（3単位：週2回）

Week1	10/3	MVP構想
	10/6	
Week2	10/10	
	10/15	
Week3	10/17	MVP設計・製作
	10/20	
Week4	10/24	
	10/27	
Week5	10/31	MVP構想 DR締め切り
	11/6	
Week6	11/14	
	11/17	
Week7	11/21	MVP評価
	12/1	

11/8 - 9
高専祭

11/26 - 11/28
後期中間試験

MVP構想
DR締め切り

Week8	12/5	MVP設計 DR締め切り	MVP評価
	12/8		
Week9	12/12	MVP評価 DR締め切り	実装
	12/15		
Week10	12/19		良評価
	12/22		
Week11	1/5	社会実装評価 DR締め切り	発表会準備
	1/9		
Week12	1/16		了報告書 に向けて調整
	1/19		
Week13	1/23		
	1/26		
Week14	1/30	まとめ	
	2/2		
Week15	2/13		
	2/16		

MVP設計
DR締め切り

MVP評価
DR締め切り

社会実装評価
DR締め切り

1/10
MIRS発表会

2/4 - 2/10
学年末試験

ドキュメントに対するMG4との相違点

- 設計書はアジャイル的に作成・更新し、最終的には製作物から逆算する形で記録
- 購入品は、製作過程にある設計書案をもとに部品リストに記録しレビュー
- 試行錯誤中はアトリエ貸し出し品、ジャンク部品、3Dプリンタ、ラボの端材等も活用
- 各フェーズの成果物は、次フェーズ（前工程のチェック）が完了するまでにまとめる
（試行錯誤して学びながら整理）
- 進捗はガントチャートでなくスクラムボードやバックログ（重要度と優先順位づけをつけたやることリスト）で管理

MVP構想を進める

今後、自分たちのチームがこういった目的を達成する必要があるか整理

それを達成するための必要最低限の要素は何か考える

実際に製作、現場で試す → 実際にやってみてアジャイル的に修正

10月中旬くらいから、どんどん製作、現地での調査を進めてほしい…

高専祭までは試行錯誤して進めてください

10 / 6は、ほとんどの先生がいないので頑張って進めてください

3階実験室から色々持ってきているチームはすぐにもとのところに戻してください